

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	理工学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態(講義・演習・実験等)の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導(院) 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導(専院)
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価(評価方法・評価基準の明示) 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 「大学院ファカルティ・デベロップメント部会」による全学的授業改善に則った、授業方法の改善を行う。	→学生の授業内容に対するアンケートの満足度指標。	B	B	B	B	/
2. 大学院英語教育を強化するために、英語のみによる学位コース設置に伴い、英語のみによる授業科目を開講する。	→開講科目一覧。	D	C	A	A	/
3. 複数教員による研究指導及び研究進捗状況確認のため、中間報告会などを行う。	→複数教員が参加する中間報告会などの開催状況。	B	B	B	B	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	FD講演会は理工学部と共催で年間1回行った。また学生による授業評価は全ての開講科目で実施された。多くの講義である程度の満足度が得られていることが確認された(授業評価アンケートにて50%の学生が満足回答)。学生に順次性のある履修を促すために、4月に指導教員による履修指導を徹底した。
目標2	「国際修士プログラム(英語のみによる修士コース)」を予定通り2012年9月に開設し、入学生を迎えた。2012年11月に全ての留学生に対し、聞き取り調査を行い、修学上の問題点について意見聴取した。この際にリサーチワークのミスマッチについても補正した。
目標3	全ての専攻において大学院入学時に複数の指導教員を決め、指導する制度を整備した。生命科学専攻、情報科学専攻、数理科学専攻で中間発表会を行い、中間評価を実施している。他専攻でも中間評価の体制整備が望まれるが、実現していない。
備考	